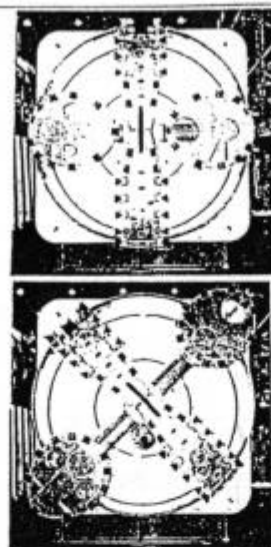


2850×2850 遊星カッター式ボックスシールド機(泥土圧式)

全体構造



掘進機要目

1. シールド本体要目

外形	2850 mm×2850 mm
全長	5758 mm
シールド圧	80 t×1150st× 350 kg/cm ² ×12本
切羽面積当り推力	118 ton/m ²
中折れシールド	150 t×80st×4本
中折れ角度	左右1.5° 上下0.5°

2. 主カッターディスク要目

形式	遊星カッター式全断面掘削方式
外径	φ 2850 mm
回転数	0～2 r.p.m
掘削トルク	69 t-m
駆動方式	油圧駆動(ME1300×4台)
カッターヘッド	超硬チップ付カッター

3. 遊星カッターディスク要目

形状	長径 1110 mm×短径 930 mm
基数	2基
回転数	0～8 r.p.m

4. スクリューコンベヤ要目

形式	ワンスタイル式
オーガ径	φ 370mm×P370mm×φ 130mm
回転数	0～22.2 r.p.m
装備トルク	1051 kg-m (140K)
駆動方式	油圧駆動(MX750×1台)

5. エレクター要目

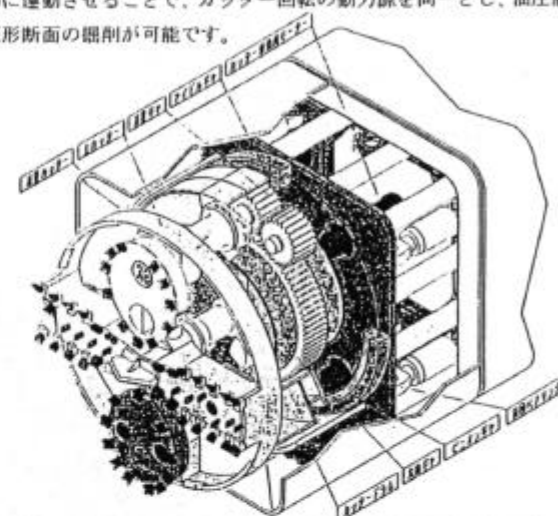
形式	リフトラム式
押込力	5500 kg
回転数	低速 1.5 r.p.m 高速 3 r.p.m

2850×2850 遊星カッター式ボックスシールド機(泥土圧式)

カッター駆動部

本機のカッターは主カッター1基と本の葉型の遊星カッター2基から成り、主カッターと遊星カッターを複数のギアで機械的に連動させることで、カッター回転の動力源を同一とし、油圧制御や電気制御を行うことなく矩形断面の掘削が可能です。

主カッターと遊星カッターは切削範囲を分担しており、主カッターが1回自転して矩形断面切羽中央部を円形に切削すると同時に、遊星カッターは1回公転しながら公転方向とは逆向きに2回自転し、矩形断面切羽の四隅を切削します。



遊星カッター動作

